

特集

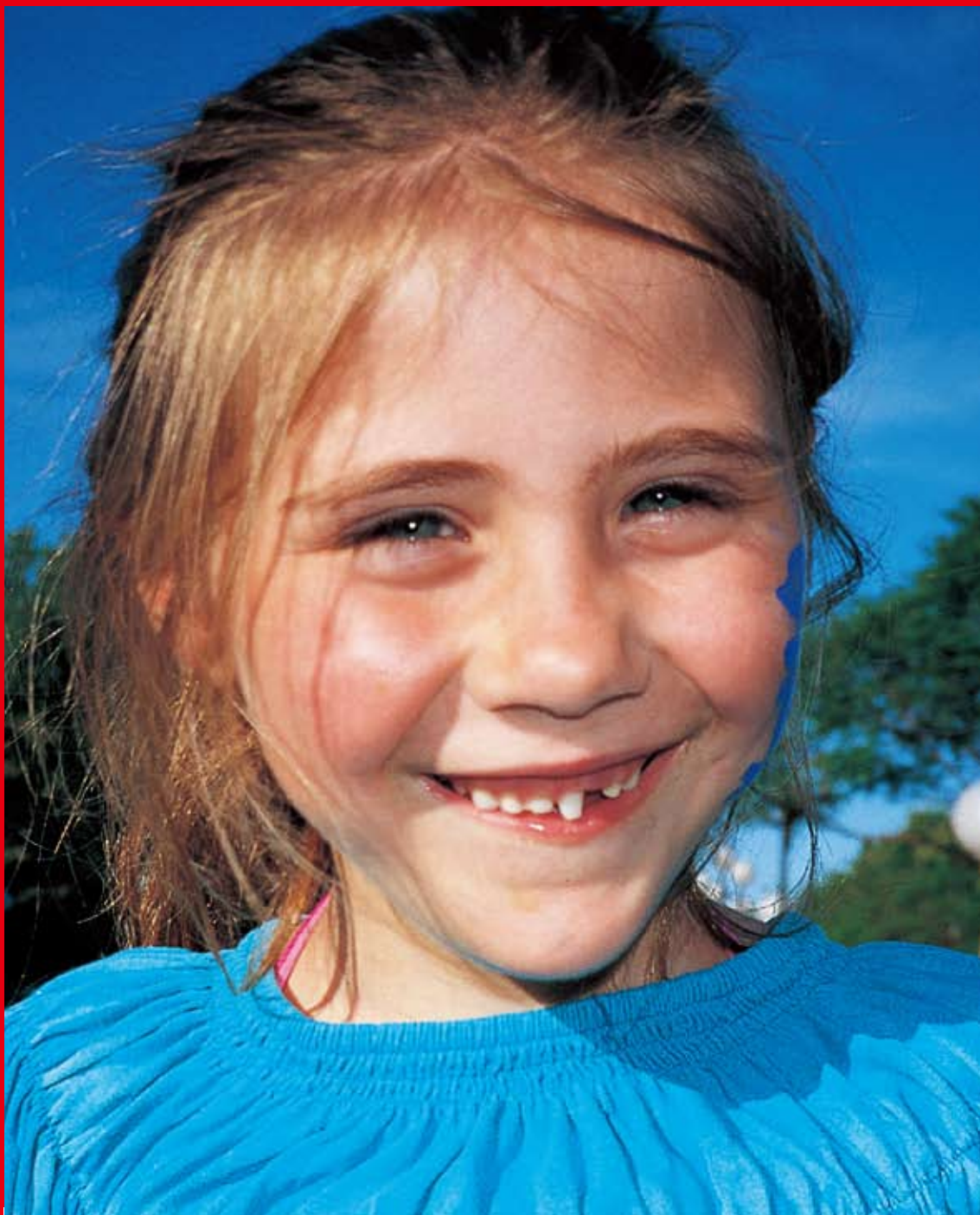
笑顔は世界共通の
コミュニケーション!

azbil FIELD

日本郵船グループ 株式会社 MTI
柳井化学工業株式会社 柳井工場

azbil MIND

お客さまの現場の課題解決に貢献する
「発展期」の取組みを強力に推進



Jugar, acariciar mis gatos, perros, y que
mami me haga masajes.



今月の Key Word

笑顔

笑顔は世界共通の コミュニケーション!

アートディレクター 水谷 孝次さん

今号からスタートする特集「元気に会おう!」

第1回は、ソーシャル・デザインを

提唱する水谷孝次さん。

「笑顔は世界共通のコミュニケーション」を

テーマに、年齢や性別、国境も超えて

世界中にMERRYの輪を広げていく活動

「MERRY PROJECT」を主催している。

情熱があれば仕事は決して

裏切らない……という

水谷さんの元気の源に迫る。

What is MERRY for you?

2009年11月、インドネシアの北端、スマトラ島・バン
ダアチェで行われた「Merry Umbrella Project」。
2004年の巨大津波で遠く内陸に運ばれた船とその
周囲で実施したセレモニーでは、多くの犠牲者を出し
た負の場所に子供たちの笑顔の傘が開いた。

オリンピックに咲いた 世界の子供たちの笑顔

2008年夏、北京オリンピックの開会式。様々なアトラクションが繰り広げられたクライマックスで、「鳥の巣」と呼ばれた巨大スタジアムいっぱいに、たくさんの傘が開いた。プリントされていたのは世界の子供たちの笑顔。まるで花が咲いたように会場の雰囲気が一変した瞬間を記憶している人もいるだろう。

中継では多くが語られることはなかったが、世界各地を回り、子供たちと会話しながら、それらの撮影をしたのが水谷孝次さんだった。これまでの撮影人数は、実に25万回3万人以上に及び。

「日本で中継を見ながら、MERRYの活動もようやくここまで来たかと思いました。デザインで人々を少しでも幸せにしたいという私の夢が、全世界に向けて大きく羽ばたいた瞬間でした」

MERRYとは、撮影の際に水谷さんが投げかける言葉だ。

「What is MERRY for you? あなたにとってMERRY(楽しい)こと、幸せなとき、将来の夢」とは何ですか。」

「スタートは僕も普通のデザイナーです。新聞広告やポスターのデザインをする仕事。寝る間も惜しんで懸命に働きました」

持ち前のバイタリティとハードワークで、水谷さんはメキメキ頭角を現す。31歳で独立をする頃には、世界的なデザイン賞を多数受賞し、仕事の依頼は引きも切らない状態だった。

「仕事への評価が高まる一方で、これが本当に自分のやりたい仕事か……という疑問が常に頭の片隅にありました。商品を通じてのデザインから、僕のアートワークは一生抜けられないのか、そんな限界に悶々としていた時期に、あの写真に巡り合ったのです」

それは、仕事で訪れたアメリカでのスナップ写真を整理しているときだった。バスに乗っている少女たちを、手持ちのコンパクトカメラでスナップ撮影した写真を見て、驚いた。心からの笑顔には、人を元気づける力があることに気づかされた。

「新しいデザインができるかもしれないと直感しました。商品を売り込むためのデザインではない、『人の気持ち』をデザインする仕事です。人と人、人と社会の『コミュニケーション』、その助けになるようなデザインをしたいー! そう強く思いました」



MERRYの写真を撮るきっかけになったアメリカでのスナップ(写真左)。撮影は両手にカメラが水谷さん流(写真右)。



笑顔になれる農業「Merry Farming」プロジェクトも進行中(写真左)。東京・六本木ヒルズ メトロハットにて(写真中)。北京五輪開会式に開いたMERRYの傘(写真右)。



ゴミを捨てないMERRYな空気をつくるため、撮影地では必ずゴミ拾い。



撮影は会話で心を開きながら(写真左)。水谷さんの「ソーシャル・デザイン」への想いが詰まった一冊(写真中)。MERRYの活動は水谷さんのデザインで様々なカタチになっていく(写真右)。

Profile

水谷事務所代表／MERRY PROJECT 主催 アートディレクター
みずたに こうじ
水谷孝次さん



1951年名古屋生まれ。日本デザインセンターを経て、1983年水谷事務所設立。東京ADC賞、JAGDA新人賞、N.Y.ADC国際展・金賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ展金賞・特別賞、ブルーノ国際グラフィックデザインビエンナーレ銅賞・特別賞、コロラド国際ポスター招待展最高賞など数々の賞を受賞。1999年より「MERRY PROJECT」を開始。2005年愛知万博にて「MERRY EXPO」を展開。2008年北京五輪開会式のオープニングセレモニーに芸術顧問として参加。2010年1月「デザインが奇跡を起こす」を刊行。



イベント「MERRY Farming」に出現した巨大カカシ。



事務所の屋上は「屋上庭園」になっている(写真左)。話し出したら止まらないトークはとにかくバワフル(写真右)。

ピンボケでもいい 最高の笑顔を伝えたい

それまで一流の写真家と仕事をしてきた水谷さんは、自らカメラを持つことにした。被写体に威圧感を与えない小さなカメラ2台を両手に持ち、1枚撮って、相手の緊張がほぐれたところでもう1台のシャッターを切る、それが水谷流撮影テクニックだ。

「ピンボケでもいいんです(笑)。うまく撮るより、相手の気持ちを素直に写すことが肝心。その気持ちを橋渡しすることが、『コミュニケーション』。人を幸せにするソーシャルデザインの役割なんです」

これまでに水谷さんは世界中で撮影をしてきた。阪神・淡路大震災の復興記念の神戸をはじめ、日本各地で。世界では地元の人にも近寄らないスラム街やサバンナのマサイの村。9・11の後のニューヨーク。四川大地震の後、復興支援で活気を取り戻した中国・四川省の小学校。インドネシアでは津波で大きな被害に遭った街にも行き、「あなたのMERRYは？」と問いかけながら撮影し、はにかむ笑顔やはじける笑顔、人々の素直な気持ちを作品にし、世界に向けて発信してきた。

自身も心からの笑顔で人々に歩み寄り、この問いを投げかけ水谷さんは撮影をしてきた。

「世界には貧富の差や、人種、政治、宗教の対立を抱えて大変な地域がたくさんあります。また、大きな災害でどん底に突き落とされた所もある。でも、そうした場所であっても、人々はたくましく暮らしています。子供たちは、夢を持って生きています。彼らの笑顔を撮影し、彼らが発したメッセージを伝えるのが、僕の仕事、僕のデザインです。その舞台としてオリンピックの開会式が与えられました。北京の大会組織に押しかけて意義を説明するなど、すべて自費での活動でしたが、やって本当に良かったと思います」

人を幸せにする ソーシャル・デザイン

水谷さんの仕事は、アートディレクター。広告やパッケージ、書籍などのデザインワーク全般を統率し、私たちが目になっているデザインも多い。でも、水谷さんの考える「デザイン」は、次第にメディアや商品の枠を超えて、もっと広く大きなもの、社会的なものに変わっていった。現在、それを「ソーシャル・デザイン」と呼んでいる。



おそろいのMERRY
Tシャツで、事務所の
スタッフとパチリ!



**情熱を注げば
仕事は決して裏切らない**

「20世紀末には、死やネガティブなモチーフを題材にしたアート作品がもてはやされていました。例えば、牛の親子を真つ二つに切つてアクリルに閉じ込めたような作品です。ネガティブな表現はセンセー

ションで、人を驚かすには手取り早いんです。でも、僕は全く違う、ポジティブな表現が必要だと考えました」

朝の光が差し込むように、希望

や夢をストレートに表現する作品は、世の中を斜に構えて見る風潮のあつた当時には、カッコ悪く思う人もいたそう。しかし、21世紀になって10年がたつた現在、ようやく多くの人が、ポジティブな気持ちや寛容の大切さに気づき始めていると、水谷さんは感じている。

「テロに報復で対抗しているうちは、問題は何も解決しません。憎しみが新たな悲劇を生んでいくだけです。自分や国のエゴを押し通すだけでは、地球環境も民族対立も、家族関係だって、状況は悪くなる一方だということを、世界で多くの人が学び始めています。そうした今だからこそ、各人が自分のMERRYを考え、笑顔で堂々と口にすべきときではないでしょうか。本心からの笑顔は、自分だけでなく、周りの人々も幸せな気持ちにします。力になつて周囲や社会を変えていきましょう」

では、水谷さん自身にとってのMERRYは、一体どんな言葉になるのだろうか？

「和顔愛語」という言葉がある。和顔は、水谷さん自身にとってのMERRYは、一体どんな言葉になるのだろうか？

**読者のあなたも
デザイナーの一人**

「和顔愛語」という言葉がある。和顔は、水谷さん自身にとってのMERRYは、一体どんな言葉になるのだろうか？



和顔愛語 メリボラウド
水谷孝次



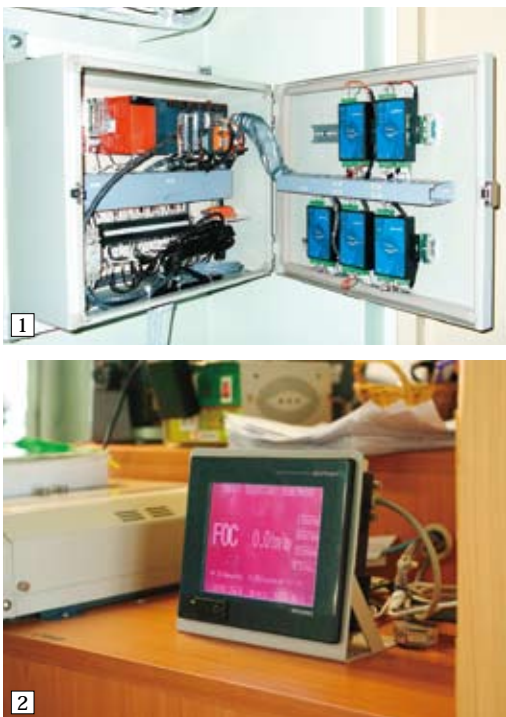
あなたもMERRYに参加しよう!

ウェブサイトから、あなたも気軽にMERRY PROJECTに参加できる。これまでに世界25カ国で水谷さんが撮影した3万人以上の笑顔とメッセージを世界地図で旅するように見ることができるほか、あなたがMERRYだと感じたことなど、世界に向けて投稿することもできる。言葉は「MERRY U」だ。

<http://www.merryproject.com/>



日本郵船グループ 株式会社 MTI



① 船内に設置された燃費計。
② 燃費計に接続したモニタ。燃費計が収集したあらゆるデータを基に、燃料1トン当たりの航行マイル数や、1マイル当たりのCO₂量がリアルタイムで表示される。

燃料消費動向の“見える化”で 船舶の運航にかかわる省エネルギーを推進

国際海運にかかわる環境技術の開発に取り組むMTIでは、航行中の船上で乗組員がリアルタイムに燃料消費の動向をモニタリングし、状況に応じて適切な省エネ運航を行うシステムの構築に着手。長期航海を続ける船上においても、常に安定稼働する高信頼の自動計測システムを実現しました。さらにこのシステムは、陸上の運航管理システムとも統合され、船舶の省エネ推進の重要な役割を担っています。

燃料消費動向の可視化により 乗組員の省エネ意識を醸成

国際海運を中心とする「海・陸・空にまたがる総合物流企業グループ」として、グローバルに事業を展開する日本郵船（NYK）グループ。同グループの「モノはこび」にかかわる技術の研究・開発を担っているのが株式会社MTIです。NYKグループでは、特に環境・省エネ分野について2008年4月以来、環境特命プロジェクト「NYK Cool Earth Project」を推進しており、国際海運の環境技術において世界最先端を目指すことを表明しています。その活動の中核的存在として、MTIには大きな期待が寄せられています。

同社では、航行時に波の抵抗だけではなく風圧抵抗をも考慮した船舶の形状デザインの研究や、「MTI-FAST」*と呼ばれる船舶用省エネ装置の開発を行うなど、安全運航に加え、より少ない燃料消費量での運航を実現するための技術開発に取り組んできました。

「ハード面だけではなく、船舶の乗組員が明確な省エネ意識を持ちながら燃費を考慮した航行を行うことも不可欠です。それを支援するための仕組みづくりも当社にとっ

て重要なテーマとなっていました」（安藤氏）

通常、船舶の燃費については、日々、燃料の積算カウンタに基づいて機関士が1日1回程度算出します。これに対しMTIが目指そうとしたのは、運航中の船上でリアルタイムに燃料消費動向が把握できるようにする仕組みでした。

広範な産業分野で培われた 高度な計測ノウハウに期待

MTIではまず、リアルタイムに燃費を把握できる独自のシステム構築に挑戦しました。ところが、連続稼働するシステムが不安定で、長い航海の途中でシステムが止まってしまふなどの課題を抱えていました。そうした経緯から、同社では船上でも24時間365日安定的な稼働が可能な、高信頼の自動計測システムの必要性を痛感していたとい

います。

「そのような折、日本郵船の子会社で船舶向けに山武のシステム、計装機器も販売している郵船商事株式会社の計らいで、2006年6月にNYKグループと山武との間で省エネルギーをテーマとした技術交流会が催されました。この交流会がきっかけとなり、幅広い産業分野で豊富な実績を持つ山武のノウ

装置の性能解析という側面でも貢献しています。

「トライアルは1年間に及ぶものでしたが、その間、常時発生する我々のニーズをつぶさにくみ取り、速やかにシステムに反映してくれた山武の臨機応変な対応が非常に印象的でした」（戸来氏）

海と陸で運航状況を見える化 経済性と安全性のさらなる向上を目指す

トライアルでその有用性が立証された「燃費計」は2008年12月には、船上だけではなく船から陸に送信される「アブログ」*と呼ばれるレポートینگ・システムと連携する形で進化を遂げ、運航管理者用のツールSIMS(Ship Information Management System)として

大きな威力を発揮しています。現在、日本郵船が所有する各船種の中でも特にインバクトの大きいコンテナ船に搭載された燃費計から1時間ごとの運航関連データを陸

側のSIMSで受けることで経済性と安全性の確認を行っています。

「これにより、陸上の運航管理者が、これまで1日1回のアブログを通してその概要しか知ることのできなかった船舶の運航状況を、詳細なレベルで把握できるようになりました。例えば、同じ航路を運航している同じような船舶の間に大きな燃料消費の差があった際に、気象や海象の状況なども加味しながら、そうした差がなぜ生じたのかを分析し、燃料節減のための的確なアドバイスを行うことが可能となりました」（角田氏）

「今後、船舶の運航に関する省エネルギーの取組みはグローバル規模でますます活発化することが予想されます。山武とともに取り組んだ今回のシステムへの期待もますます高まることでしょう。今後もMTIと山武で、さらに「ミニモニーション」を図り、海の上の省エネルギーに貢献していきたいと思っています」（安藤氏）

用語解説

*1:MT-FAST
船舶のプロペラ前方に複数の翼を取り付けることで、プロペラの回転から生まれる旋回流を抑えて推進効率を向上させることで燃費削減効果が得られる、MTIの開発した省エネ装置。

*2:データロガー
センサーで計測された温度、圧力、流量などのデータを保存する電子計測器。

*3:トルク
ねじを回す力。ねじりモーメントともいう。棒をよじる場合や、モーターなどの原動機の回転軸における駆動力を示す。

*4:アブログ
(Abstract log)
航行距離や燃料消費量、入出港の地名や時間、積載貨物名や数量など、船舶の運航上発生した重要な情報を記録する日誌。

日本郵船グループ 株式会社 MTI



所在地：東京都千代田区丸の内
2-3-2 郵船ビル 5F
設立：2004年4月1日
事業内容：船舶の安全運航及び運航に関する環境・省エネ技術の研究・開発



技術戦略グループ
プロジェクト
マネージャー
安藤 英幸氏



技術戦略グループ
研究員
角田 領氏



技術戦略グループ
研究員
戸来 直樹氏

柳井化学工業株式会社 柳井工場



多品種少量生産の現場で 情報を取る目として安定操業に貢献

化学・医薬分野を中心としたメーカーからの委託を受け、化学品の製造を行う柳井化学工業。同社では先ごろ、さらなる生産量増大への対応を主な目的として、第二工場を新設しました。新工場においても既存工場で実現している信頼性、使い勝手の良さを継承するために山武のシステムを導入。オフィスに居ながら現場の状況が把握できるなど作業の効率化にも貢献しています。

**化学・医薬などの顧客が持つ
多品種少量生産のニーズに応える**

柳井化学工業株式会社は、化学品の受託製造を行う企業です。顧客の提示した処方に基づいて化学合成を行い、一般化学品や医薬品の中間体を生産して納品するというのが同社の役割であり、顧客は化学、医薬をはじめ、自動車やコンピュータなど幅広い分野に広がっています。

「大手メーカーなどが新製品を投入する際、市場での需要が明確でない最初の段階においては、まず小さなスケールで生産に着手することになります。当然、その段階で、自社で設備投資を行うということには大きなリスクがあるため、お客さまに代わって、当社が化学品の試作や生産を行うのです（有吉氏）」

山口県柳井市にある同社工場には、そつした顧客の多様なニーズに応えられるよう、高い柔軟性を備えた生産体制が整えられています。これまでに第一工場、第三工場を稼働させ、多様な分野において顧客の多品種少量生産のニーズに応えてきました。先ごろ、同社が従来より特定の顧客から受注していた特殊な化学品についての生産量が増大したことへの対応を目的に、

第二工場と呼ばれる新たな生産施設の設置に取り組みました。
**長きにわたって生産を支えてきた
高度な信頼性と使い勝手を評価**

年間100種類にも及ぶ製品を顧客ニーズに合わせて小ロットで短期間に生産することが求められる柳井化学工業では、積極的に自動制御を採用せず、手動制御によるきめ細かい製造を行ってきた。手動制御を行うからこそ作業環境において各製造過程の温度などの情報を監視・管理することが求められます。このことから、第二工場の新設に当たっても既存工場のシステム形態を踏襲し、監視用途を主とした「現場の情報を取る目」として協調オートメーション・システム「Harmonas™」を採用しました。また、各種製造装置の制御と情報の収集を行うフィールドコントローラとして現場分散協調オートメーション「Harmonas-FLex™」さらには複数のPCを用いたマルチクライアント環境での監視・制御を可能にするTSS（Thin Client Supervisory Server）サーバー／クライアントを導入しました。

「当社では、1997年に第一工場において製造装置の監視・制御を

な対応からも大きな安心感が得られています」（岩花氏）

一方、使い勝手という面では、ニーズに応じたシステムのカスタマイズが容易に行えるということが重要なポイントとなっています。事実、柳井化学工業では、システム構築や監視・制御画面の変更などは、同社の担当者が対応するという形を取っています。

また、TSSサーバー／クライアントの活用により、生産現場のほかにもオフィスなどの様々な場所で現場の状況や温度変化などのトレンド情報を確認することが出来ます。このことが、同社システムの使い勝手の高さを支えている重要な要因となっています。

例えば、化学品を試作するような場合には、現在の温度やpH値などを随時確認して、処理の微調整を行う必要があり、そつした調整には同社のスタッフや管理職といった相応の経験を持つ人材が当たら

なければなりません。従来、現場から離れなければならない場合は、オフィスから現場に電話をかけて状況を確認し、必要な指示を伝えるという形で対応していました。

TSSの採用により、スタッフや管理職はオフィスに居ながらにしてPCの画面上で現場の状況を詳細に確認し、それに応じた制御をリモートで行うことが可能となりました。これによって、作業の効率性や精度、さらには安全性の向上といった成果が上がっていることは言うまでもありません」（山口氏）

**人と自動化システムが
協調できる生産体制を目指す**

新設された第二工場は、2010年1月に竣工し、本格稼働を開始しています。その中で、既存工場の実績からも評価されていたシステムの信頼性や使い勝手といったメリットも確実に継承されています。さらに今後はオートメーション

用語解説

***1:DCS (Distributed Control System)**
工場の生産システムなどを構成する各機器に搭載された制御装置をネットワークで接続し、相互に通信、監視し合う仕組みを提供するもの。分散制御システム。

***2:ISOP (Industrial Services Operation Program)**
計装システムを構成するすべての機器についての保守業務を、山武が顧客に代わって実施するプログラム。システムの規模やお客さまの保守体制に合わせて、保守業務を一括で請け負う、緊急保守をサポートする、システムの長寿命化を支援するなどの各種パッケージが用意されている。



- 1 生産現場に設置されたHarmonasの運転管理用端末。現場担当者は、この画面上で生産設備の状況を確認し、必要な制御を実施する。
- 2 TSSサーバー／クライアントの導入により、オフィスをはじめ生産現場以外の様々な場所で生産状況の監視・制御が行えるようになっている。写真は、応接室からLAN経由で監視・制御画面にアクセスしているところ。画面を参照しながら、顧客との会議を実施するといったシーンも想定している。
- 3 各種製造装置からの情報の収集、制御を行うためのフィールドコントローラHarmonas-FLex。

柳井化学工業株式会社 柳井工場



所在地：山口県柳井市柳井 1582-4
設立：1938 年
事業内容：化学品の製造・受託製造及び販売



執行役員
工場長
有吉 裕治氏



品質管理部
次長
山口 良二氏



製造部
施設課
課長
岩花 和宏氏

お客さまの現場の課題解決に貢献する 「発展期」の取組みを強力に推進

新たにスタートした2010～2013年度の4カ年を「発展期」と位置付けた中期経営計画の下、azbilグループならではの商品とサービスを通してお客さまの現場の課題解決に貢献。成功体験と密接に結びつけた「azbil」ブランドの確立を目指します。

厳しい環境を追い風に変え
事業基盤の強化を着実に推進

azbilグループでは、2006年の山武の創業100周年を機にグループシンボル「azbil」を制定し、以来、「人を中心としたオートメーション」の企業理念の具現化に向けて、事業活動を展開してきました。いま私たちの社会を見渡せば、CO₂排出などの地球環境負荷、産業界や家庭における安全・安心の問題、さらには高齢化・人口減少（国内）／人口増加（発展途上国）など、切実な課題が突きつけられている状況です。これに対し我々は「人を中心としたオートメーション」こそが、それらの課題の解消に貢献するものであると確信し、その信念の下に事業活動を実践しています。

2007～2009年度の中期経営計画では、当該の3カ年を企業理念の実現のための「基盤を確たるものにする期」と位置付け、ビルディングオートメーション（BA）事業、アドバンスオートメーション（AA）事業、そしてライフオートメーション（LA）事業の各領域で、収益基盤の強化と領域拡大に向けた事業構造・業務構造の変革にグループを挙げて取り

組んできました。

あいにく、2008年半ば以降は、米国のサブプライムローン問題に端を発する世界的な金融危機を背景に、企業の設備投資が急激に縮小した影響もあり、当初の計数目標は下方修正せざるを得ない状況となっていました。が、事業基盤の強化という観点では、むしろ着実に前進することができたものと考えています。厳しい環境だからこそ社員全員が危機意識を共有し、当初掲げた3つの創造、すなわち「商いの創造」「働き場の創造」「気持の創造」の実践によって、新領域の開拓や様々な業務変革に果敢に取り組み、あらゆる局面でその成果を上げることができました。

多様な局面での取組み強化で
「発展期」の事業を積極的に拡大

そしてazbilグループでは、「発展期」と位置付けた2010年度から2013年度の新たな4カ年の中期経営計画が今まさにスタートし、これまでの3年間で強化してきた基盤をベースに、商品とサービスを通してお客さまの現場の課題解決に貢献し、さらなる発展を目指していきます。

まず商品面では、お客さまにとって魅力ある次世代商品を積極的

に市場に投入していきたいと考えています。その際のポイントは、小型化、ネットワークによる統合化、そして局所・極小での計測の実現の3つです。これら3つの要件による全体最適化が、お客さまの最新のニーズを満たし得るものと考えています。

また、サービス面では、お客さまの現場にある複雑かつ多岐にわたる課題に的確に対応できることが不可欠であると考えます。そのため社員一人ひとりのスキルアップはもちろん、チームワークによる解決能力のさらなる向上を目指していきます。併せて、そうしたチームでの協働を支えるプロセスの可視化、定型化を行うための手段も積極的に確立していく必要があります。例えばAA事業の分野では、お客さまの現状の課題やその解決に向けて行う施策を「言葉」というあいまいな手段ではなく、具体的な「絵」として描くことで可視化するオブジェクト指向といったアプローチをエンジニアリングの現場に広く浸透させる取組みを進めており、既に多大な成果が表れています。

加えて、海外事業の強化も我々の「発展期」を支える重要な柱であると位置付けています。近年、山武

では、北米や中国において、提案力の強化、リソースの共有化によるオペレーションの効率性向上などを念頭に、同エリア内の既存現地法人の統合を実施してきました。

また、新規エリアであるインドに現地法人「アズビルインド株式会社」を設立するなど、海外のお客さまに対する接点拡大に向けた施策を急速に進展させてきています。

特にAA事業の領域においては、かなり以前に山武の製品を導

入し、今も利用されているというお客さまが海外にはたくさんいらっしゃいます。そうしたお客さまには、新製品へのリプレースを提案するなど、山武の名前を改めて認知してもらい、azbilブランドとして再認識してもらえよう積極的にアプローチしていきたいと考えています。

また、BA事業は、各国、地域により気候や建物に対する考え方が異なるなどの地域性があり、事業

展開が易しくありません。これを乗り越えるためには、お客さまと深い接点を構築することが不可欠とされます。これに対し山武では、去る2009年3月に韓国NO.1の設計事務所として知られる韓一MEC(Hanil Mechanical & Electrical Consultants)社に資本参加するなど、まずは現地パートナーとの協業を核としたアプローチによって、海外展開を加速させていくと考えています。

環境対策のノウハウを基に
お客さまと協働させていただく

グローバルな舞台で発展を遂げていく上で、我々自身が企業として果たすべき社会的な責任もさらに大きなものとなります。特に「人を中心としたオートメーション」を理念に掲げるazbilグループにとって、地球環境への配慮はとりわけ重要なテーマであり、生産、販売、物流といった事業活動全体を通じて、CO₂排出量削減をはじめとする環境保全活動にグループ一丸となつて積極的に取り組んでいます。そして、その中で蓄積された知見やノウハウをBA、AA、LAの各事業を通じて提供し、お客さまの環境対策に向けた取組みをしっかりと支えていきたいと考えています。

冒頭でも述べたように、世界的な経済不安を背景とした厳しいビジネス環境が今も続いています。「発展期」を迎えたazbilグループでは、「人を中心としたオートメーション」による新たな価値提供を通じて、お客さまのビジネスにおける競争力強化を支援し、常に信頼されるパートナーとして、今後さらなる努力を続けていくことを約束します。



株式会社 山武 代表取締役 社長 小野木 聖二



azbil Topics

製品情報

ニュース

セミナー情報

展示会情報

デジタルファイバセンサ HPX-EGシリーズを販売開始

株式会社 山武は、デジタルファイバセンサHPX-EGシリーズの販売を開始しました。HPX-EGは、オートチューニング時のダイレクトで適切な感度が設定できる自動感度切替えや、入光状態の受光量を基準とし、与えられた設定割合で更新周期ごとに検出設定値を自動で補正する設定値自動補正機能など、複雑な調整を大幅に軽減する機能を搭載し、簡単操作で安定検出を実現します。

HPX-EGシリーズは標準タイプのほか、外部入力機能付きモデルや省配線モデル[※]などのラインアップを

用意しています。
輸出装置にも安心してご使用いただけるよう、CEマークをはじめ、UL規格、Sマークへの対応も順次開始します。

※省配線モデルは、HPX-AGシリーズとの連装も可能です。



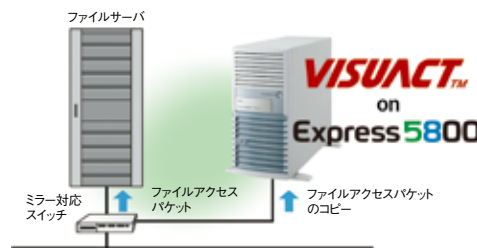
●株式会社 山武 アドバンスオートメーションカンパニー コールセンター TEL：0466-20-2143

セキュリティフライデー、ファイルサーバ・アクセスログ収集ソフト「VISUACT」をNECフィールディングに提供開始

セキュリティフライデー株式会社は、NECフィールディング株式会社にファイルサーバ・アクセスログ収集ソフトウェア「VISUACT（ビジュアクト）」の提供を開始しました。

内部統制や情報漏えい対策などを目的に多くの企業や官公庁でファイルサーバのアクセスログ取得が求められています。VISUACTはファイルサーバやクライアントPCへのソフトウェアのインストールが不要なネットワー

クバケット監視型のログ収集システムで、ユーザ環境に悪影響を与えることなく安全に導入・運用が可能です。このたび、NECグループとの協業の一環として、NECフィールディングからNEC製サーバExpress5800を使った「VISUACTプリインストールモデル」が発売されました。VISUACTはこれまでのソフトウェアでの提供に加え、サーバ組み込み済みのアプライアンスイメージでの提供が可能になりました。



●セキュリティフライデー株式会社 営業部 TEL：0466-26-5666

ワイヤレス・ディスプレイ・マルチメーター Fluke-233を販売開始

ロイヤルコントロールズ株式会社は、ディスプレイ部を本体から取り外して使用できるマルチメーターFluke-233を発売しました。F-233はディスプレイ部を取り外し、本体から10m離れた場所でワイヤレスにて測定値を確認できます。従来は2人必要とした測定現場でも、1人での作業が可能となります。また、測定場所が機械の近くなどの場合、離れた安全な場所で測定値を見ることが出来ます。

【仕様】
・ワイヤレス周波数：2.4GHzISMバンド／10m
・DCV基本確度：0.25%
・AC/DC電圧：1000V
・AC/DC電流：10A
・静電容量：1000nF～10000μF
・周波数：0.1kHz～50.00kHz
・温度測定機能：K熱電対 -40～400℃
・抵抗・導通・ダイオード測定
・製品重量：604g

●ロイヤルコントロールズ株式会社 営業本部
TEL：03-3576-6951



安全センター・熊本安全センター経営統合のお知らせ

安全センター株式会社は、azbilグループの基幹事業の1つである「ライフオートメーション事業」の中で緊急通報サービスをはじめとした電話による健康相談事業を推進し、「人々のいきいきとした暮らし」に貢献するライフアシスト分野において、これまでに事業の拡張・営業施策の展開、サービスやセンター運営の効率化などの業務体質整備を進めてきました。2010年度から始まるazbilグループの「発展期」に向けて、ライフアシスト分野の事業をさらに拡大し、営業部門の連携強化による事業拡大、緊急通報センター機能の連携強化による生産性向上やリスク対応などさらなる品質向上を目的に熊本安全センターを安全センターに経営統

合することになりました。
経営統合後の商号は「安全センター株式会社」とし、緊急通報サービスセンターは熊本センター、営業部門は熊本営業所となります。（住所、連絡先に変更はありません）



安全センター 熊本営業所外観

●安全センター株式会社 フリーダイヤル：0120-377-317

山武社員、省エネ大賞 人材部門で、経済産業大臣賞及び省エネルギーセンター会長賞を受賞

株式会社 山武は、経済産業省が実施する平成21年度「省エネ大賞」にて、ビルシステムカンパニー中四国支店の富田安夫が人材部門（支援サービス分野）で「経済産業大臣賞」を、藤沢テクノセンターの塚越隆啓が人材部門（企業等分野）で「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。

省エネ大賞は、「機器・システム部門」「人材部門」「組織部門」の3部門において省エネ性能などが優れた製品や、省エネ推進に貢献した個人、グループ、企業などに対して国が表彰することにより、さらなる省エネルギーの促進を目的とするものです。今年度は、3部門合計で34件が受賞しました。



●株式会社 山武 経営企画部広報グループ TEL：03-6810-1006

SEA JAPAN 2010

会期：4/21(水)～4/23(金) 入場料：1000円(招待状持参者は無料)
時間：10:00～17:00 出展内容：省エネルギーソリューション、
会場：東京ビッグサイト 文書データ分類・解析ツール
主催：UBMジャパン株式会社

●株式会社 山武 アドバンスオートメーションカンパニー コールセンター TEL：0466-20-2143

表紙の笑顔が変わりました!

azbilグループの理念である「人を中心としたオートメーション」は、オートメーションによって人々をシアワセにすることです。本PR誌の企画で“人々のシアワセって何だろう”と模索していたときに、「笑顔は世界共通のコミュニケーション」をテーマに活動されている水谷孝次さんに会いました。

今月号から水谷さんの作品が表紙を飾ります。



水谷事務所代表／
MERRY PROJECT 主催
アートディレクター
みずたに こうじ
水谷孝次さん

また、今年度の特集では、「元気に出会う!」をテーマに日本発の元気の源をご紹介します。4月号では、表紙の写真を撮影されている水谷さんの活動をご紹介します。次号以降も日本の各地から元気をお届けします。

今月の表紙



アルゼンチン／ブエノスアイレスにて

●MERRY メッセージ
「私の猫たちや犬たちをなでて遊ぶこと、お母さんにマッサージをしてもらうこと」

●水谷さんの撮影メモ

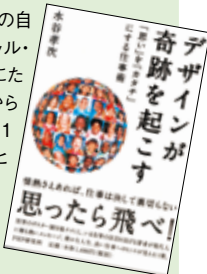
取材を行った遊園地では「貧しい子供たちにミルクを!」というキャンペーンを行っていました。2カ月は品質が保たれるという指定のミルクを購入し、1リットル寄付すると入場料が半額になるというものでした。入場者が持ち寄ったミルクに加えて、遊園地とミルク業者がたくさんのミルクを恵まれない子供たちに提供するという、とてもMERRYな企画でした。アルゼンチンという国は、経済的には厳しいけれど優しい心とMERRY(幸、楽しい夢)な空気がとてもいっぱい国でした。

Present

デザインが奇跡を起こす 「思い」を「カタチ」にする仕事術

特集でご紹介した水谷さんの自伝ともいえる著書。ソーシャル・デザインという新たな地平にたどり着くまでの少年時代から現在までの足跡をたどった1冊。豊かな人生、仕事へのヒントが見えます。

■PHP研究所
■水谷孝次 著
■価格1470円(税込)



本書を5名の方にプレゼントいたします。
お名前、貴社名・部署名、ご住所、電話番号、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号をご記入の上、下記宛先に4月末日までにご応募ください。厳正な抽選の上、当選者ご本人に直接当選の連絡をいたします。なお、社員並びに関係者は応募できません。

azbilグループPR誌「azbil」を ご愛読いただき、 ありがとうございます。

■本誌に関するお問い合わせやご意見、ご希望、ご感想、取り上げてほしいテーマなど、皆さまからのお便りをお待ちしております。お名前、貴社名・部署名、ご住所、電話番号、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号などをご記入の上、下記まで郵送、FAX、電子メールなどでお寄せください。

■ご住所などの変更に関するご連絡は、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号も併せてお知らせください。

■お問い合わせ・プレゼント応募宛先
〒100-6419
東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル
株式会社 山武
azbil 編集事務局
TEL：03-6810-1006
FAX：03-5220-7274
E-mail：azbil-pr@jp.yamatake.com

■発行日：2010年 4月 1日
■発行：PR誌 azbil 編集事務局
■発行責任者：岡 訓仁
■制作：日経BP企画

編集後記

今月から表紙が一新されました。かなりインパクトのある表紙でみなさん驚かれたのではないのでしょうか。azbilグループの社内が笑顔になることはもちろんのこと、azbilの取組みがお客さまの笑顔につながるよという想いが水谷さんとのご縁となりました。これから毎月いろいろな国のパワーある子供たちの笑顔が表紙を飾ります。それに加え、特集も日本国内で頑張っている人や取組みを「元気に出会う!」をテーマにお伝えしていきます。お楽しみに!(akubi)

英文仕様書集2010年度版 [フィールド機器・調節弁]を発行

株式会社 山武は、フィールド機器と調節弁の英文仕様書集2010年度版を発行しました。個々の英文仕様書を1冊にまとめたもので、最新の情報が掲載されています。弊社営業担当者までお問い合わせください。

資料番号：SP2-IAP2010
資料名称：Selection Guide to Field
Instruments & Control Valves 2010

●株式会社 山武
アドバンスオートメーションカンパニー コールセンター
TEL：0466-20-2143



やさしさの宿 竹亭の露天風呂。さわさわと風に揺れるササの音、鳥のさえずりに耳を傾けながら湯煙を楽しめる。

岡山県 湯郷温泉

えんにん
円仁法師によって発見された
しらさぎ
白鷺伝説が語り継がれる美肌の湯

吉井川へと流れ込む吉野川沿いに開けた湯郷温泉は、奥津温泉、湯原温泉と合わせて美作三湯に数えられている。その歴史は古く、平安時代にまでさかのぼる。比叡山延暦寺の高僧、円仁法師が西国巡礼に際し、薬師如来の導きで美作を訪れた。そして薬師如来の化身である白鷺が水だまりで足の傷を癒やしているのを見つけ、温泉が発見されたと伝えられている。

「鷺の湯」の別名を持つ温泉は、無色透明でほぼ無臭。口に含んでみるとほのかに塩気がある。湯触りは優しく、つるつる感が心地よい。美肌作りの湯として知られ、女性に人気のもうなずける。

山あいでありながら、日本海と瀬戸内海の両方の港から約1時間半。地元の山の幸に加え、旬の魚介も豊富だ。また、近年はテニスコートやプール、ジョギングロードなどが整備され、スポーツの拠点としても脚光を浴びている。古き出湯は、なお進化中なのである。

泉質・効能
ナトリウム・カルシウム塩化物泉
無色透明で無臭。微量のラジウム気泡を含んでいる。肌がすべすべして心地よく、効能は皮膚病や切り傷、やけどのほか、消化器病、神経痛、リウマチ、貧血症、婦人病と数多い。

■写真の湯
やさしさの宿 竹亭
TEL: 0120-787-090
<http://www.chikutei.co.jp/>
〈アクセス〉
車／中国自動車道美作ICから約4km。山陽自動車道と気ICから約23km。JR姫新線林野駅から車約8分。美作ICや林野駅より無料送迎バスあり(要予約)

立寄処 おおやま 大山展望台

湯郷温泉街から車で約8分のところにある標高342mの展望台。湯郷温泉と吉野川の流れを見下ろし、那岐山や津山盆地の向こうの山並みまで遠望できる絶好のビュースポットだ。早朝には街が雲海に包まれる絶景が見られることもある。



TEL: 0868-72-0374 (湯郷温泉観光協会) <http://www.spa-yunogo.or.jp/>



azbil 創業1906年 山武の進化
グループ 人を中心としたオートメーション

国内
●山武 ●山武商会
●山武コントロールプロダクト
●山武エキスパートサービス ●山武フレンドリー
●山武ケアネット ●安全センター
●セキュリティフライデー ●原エンジニアリング
●金門製作所 ●山武瑞穂 ●ロイヤルコントロールズ
●太信 ●テムテック研究所

海外

●アズビル韓国 ●アズビル台湾 ●アズビルインド
●アズビルベトナム ●アズビルタイランド
●アズビルフィリピン ●アズビルマレーシア
●アズビルシンガポール ●アズビル・ペルカ・インドネシア
●アズビル機器(大連) ●アズビル情報技術センター(大連)
●山武環境制御技術(北京)
●アズビルコントロールソリューション(上海)
●上海アズビル制御機器 ●アズビル香港
●上海山武自動機器 ●アズビルノースアメリカ
●バイオビザンシステムズ
●アズビルヨーロッパ

〈販売店〉

4 April.2010

azbilグループPR誌 azbil(アズビル)



本誌には、環境にやさしい大豆油インキと森林認証紙を使用しています。本誌からの無断転載・複製はご遠慮ください。